

なぜ大地を 血で汚すのか

大岡昇平さんが小説にした、第二次世界大戦フィリピン戦線における日本軍の苦しい彷徨いを映画にしました。50年前に市川崑さんがやはりすばらしい映画にしていますが、本作はそのリメイクではなく、あくまで原作から感じたものを映画にしたものです。初めて読んだのは高校生のときですが、本当の戦場にいるような恐ろしさがあり頭から離れませんでした。

30歳をすぎ本格的に映画にしようと思ったのですが、規模も大きく中々現実的にはなりません。さらに歳月が流れ、今から10年前に、戦場に行った方々が80歳を越えたときに強い焦りの気持ちが起こりました。その方々のお話だけでも聞いておかなければとインタビューを始めました。しかしそれでも映画化は簡単には進みませんでした。そして、今、実際に戦争の痛みを知る人がいよいよ少なくなるにつれ、また戦争をしようとする動きが起こっている気がしてなりません。今作らなければもうこの先作るチャンスはないかもしれない。また作るのはいまかと思ひ、お金はありませんでしたが、多くの力強い協力を得て完成に至りました。

映画は一定の思想を押し付けるものではありません。感じ方は自由です。しかし、戦争体験者の肉声を体にしみ込ませ反映させたこの映画を、今の若い人をはじめ、少くとも多くの人に見てもらい、いろいろなことを感じてもらいたいと思ひました。そして議論の場に使っていただけたら幸いです。

ついでに
西目也



製作・配給/高視シネマ 2014年/日本映画/時長/FULL HD/DCP(一部BD)上映/5.1ch/87分 ©2014 SHINYA TSUKAMOTO/KAIJU THEATER nobi-movie.com



《特別上映会》8月2日、《一般上映》8月15日～9月4日最終日

詳しくは0796-34-6256か、toyogeki.jpで

RINEMATION
豊岡劇場
豊岡市元町10-18